

10/18金

参加人数10名

税務・経営セミナー(藤沢法人会館)



株プロイノベーション代表の久原健司氏をお招きし、“キャッシュレス決済で業務効率と売上をアップさせよう!”と題する研修を行いました。

10/18金

参加人数49名

藤沢法人会青年部会と平塚法人会青年部会との合同交流会(F.ドリーム平塚/ホテルサンライフガーデン)



10/21月

参加人数25名

藤沢西支部研修会&懇親会(+guard)



スキル&モチベーション(株)代表の大内和利氏をお招きし、“従業員のモチベーションアップのために経営者がすべきこと!!”と題し、研修を行いました。

10/23水

参加人数32名

藤沢東支部研修バス旅行



「神代植物公園 奥高尾・うかい鳥山炭火料理 高尾山散策」

10/28月

参加人数130名

第5回本部チャリティーゴルフ大会(湘南カントリークラブ)



総合順位

- 1位 櫻井貴裕氏
〈株〉櫻井興業 藤沢西支部所属
- 2位 海野則行氏
〈株〉アコス三共 藤沢東支部所属
- 3位 川延克己氏
〈有〉丸真運輸 藤沢西支部所属



女性の部

- 1位 上原勝代氏
〈有〉あすか 茅ヶ崎北東支部所属

11/7木

青年部会租税教室(藤沢市立片瀬小学校)



青年部会では、租税教育活動の一環として、藤沢市立片瀬小学校で租税教室を開きました。

村上副部会長と穴水副部会長が講師となり、“税の大切さ”や“税の果たす役割”について学んでもらいました。また、女性部会でも、租税教育活動を行っており、租税教室で得た知識や感想を“絵はがき”にすることで、税に対する理解をより深めてもらう“税に関する絵はがきコンクール”も行っております。



11/8金

参加人数6名

第33回法人会全国青年の集い大分大会(大会式典:iichiko総合文化センターグランシアタ)



第33回法人会全国青年の集い大分大会が開催され、大会式典での記念講演はアン ミカ氏をお招きし、「ポジティブ志向〜健康な心と体で未来を動かす〜」と題する講演会を行いました。

11/12火

参加人数219名

「税を考える週間」協賛講演会 (茅ヶ崎市民文化会館小ホール)



「税を考える週間」協賛講演会が、茅ヶ崎市民文化会館小ホールにて、元フジテレビアナウンサーの河野景子氏をお招きし、「～日本人の心、おもてなし～」と題する講演会を行いました。

11/17日

参加人数36名

藤沢北東支部研修バス旅行



「東京散策」

11/20水

参加人数23名

藤沢西支部研修バス旅行



「玉堂美術館見学&奥多摩湖散策」

11/20水

参加人数24名

第7回藤法レディースアカデミー第2講座 (藤沢法人会館)



第7回藤法レディースアカデミー第2講座では、AIG共催協力講師の、赤澤 将氏(シグマ総合事務所代表)をお招きし、「ころばぬ先の杖!!中小企業のメンタルヘルス対策～安全配慮義務と損害賠償請求～」と題する、研修を行いました。

11/22金

参加人数11名

藤沢北東支部税務研修会 (湘南台文化センター 市民シアター)



税理士の村松文子氏(湘南BUN税務総合事務所代表)をお招きし、「いまさら聞けないふるさと納税」と題し、研修を行いました。

11/24日

参加人数26名

寒川支部バーベキューの集い(井慶果樹園)



12/5木

参加人数3名

税務・経営セミナー(藤沢法人会館)



アルト経営パートナー(株)代表の加藤敦子氏をお招きし、「消費税引き上げと軽減税率が引き起こす現場トラブル・事務処理課題への対策」と題する、研修を行いました。

12/5木

参加人数57名

青年部会主催 名刺交換会(藤沢商工会館ミナパーク)



地元の若手経営者の方々と名刺交換会を開催し、自社PRや情報交換をしました。青年部会では、部会員を随時募集しております。

役員への
 質問

①所属支部、法人会での役職 ②会社名 ③氏名 ④業種 ⑤好みの異性のタイプを教えてください。
 ①藤沢北支部、厚生副委員長 ②森山建設株式会社 ③小玉 徹 ④建設業 ⑤吉永小百合

社会貢献活動

令和元年度の社会貢献活動の一環として、第42回御所見文化祭、第21回湘南台ファンタジア、第36回市民ふれあいまつり、第35回寒川町産業まつりに参加し、一般来場者に“税に関するパンフレット”を配布しました。また、神奈川県内で増加傾向にある特集詐欺被害から高齢者を少しでも守ろうと、昨年に続き、藤沢市、藤沢警察署、藤沢北警察署に「迷惑電話防止機器」32台を寄贈しました。

10月19日(土)
第42回御所見文化祭
御所見公民館



10月27日(日)
第21回藤沢市民まつり湘南台ファンタジア
湘南台公園



11月3日(日)
第36回市民ふれあいまつり
茅ヶ崎市 中央公園



11月17日(日)
第35回寒川町産業まつり
さむかわ中央公園



11月8日(金)
振り込め詐欺撃退!! 迷惑電話防止機器 贈呈式
藤沢市役所本庁舎



藤沢市役所で開かれた贈呈式で鈴木恒夫市長、藤沢警察署の青木正弘署長、藤沢北警察署の森昌信署長に機器を手渡しました。

医療面話

湘南藤沢徳洲会病院 院長 宗像博美



「食道がんについて」

●食道がんは、男性(男女比約6:1)に多く、60～70歳代に好発し、48%は胸部中部食道(食道の中央部)に発生します。2009年の食道学会全国調査によれば、組織学的には、扁平上皮がんが90.5%で、腺がんは3.8%でした。

●食道がんの危険因子

1. 扁平上皮がんの危険因子は飲酒、喫煙といわれています。アセトアルデヒドの代謝酵素活性の低い人[アルデヒド脱水素酵素2型(ALDH2)ヘテロ欠損型の人]がアルコールを習慣的に飲用すると、体内にアルデヒドが蓄積し扁平上皮がんのリスクを高めます。

2. 食道腺がんの発生には、胃酸の食道への逆流に起因する逆流性食道炎によって生じるバレット食道(扁平上皮が円柱上皮に置き換わった状態)が危険因子となります。

●治療方針の決定と予後の予測は食道がんの進行具合(病期分類)を評価したうえで行われます。病期は、がんの壁深達度(浸潤の深さ:T因子)、リンパ節転移の程度(N因子)、遠隔臓器転移の有無(M因子)により決定されます。

●食道がんの治療

病期により内視鏡的治療、外科治療、化学療法、放射線治療を単独もしくは併用して行います。

1. 内視鏡的治療:食道がんの壁深達度が上皮から粘膜層までの病変はリンパ節転移がきわめてまれであり、内視鏡的切除により根治可能です。壁深達度が粘膜筋板に達したもの、粘膜下層にわずかに浸潤するもの(<200μm)では粘膜切除は可能ですが、リンパ節転移の危険性があり、相対的適応となります。また、内視鏡的切除範囲が食道の3/4周以上に及ぶ場合は切除後の瘢痕狭窄(食べ物が通りにくくなります)が発生する可能性があり、副腎皮質ホルモンの局所注入や内服による予防措置を行います。内視鏡治療例の5年生存率は86.2%です。

2. 内視鏡的治療の適応病期よりも進行している場合は、①手術を中心とした治療(手術のみ、手術と化学放射線療法の併用、手術と放射線療法など。食道がん全切除例の5年生存率は55.9%です)、②化学療法と放射線療法の併用療法、③放射線単独療法を行います。

●食道がんの症状と特徴

①早期食道がんの多くは無症状です。②進行すると、体重減少、嚥下障害、嚥下時つかえ感、反回神経麻痺による嚔声(声がかれる)、発熱、浮腫、咳嗽などの症状が現れます。③食道がんの約20%に同時性異時性的他臓器重複癌(胃がん、頭頸部がん、大腸がん、肺がんなど)が認められます。

●食道がんを早期診断するには

定期的な上部消化管内視鏡検査が最も有効です。ヨード染色(がん病変がヨードに染まらないことを利用)に加え、NBI(narrow band Imaging.がんは茶色の班状の病変として観察されます)を用いた診断技術が進歩し、早期がんの発見率が向上しています。特に50歳以上の男性、かつ飲酒者(特にアセトアルデヒドの代謝酵素活性の低い人)または喫煙者の方は、ハイリスク群として年1回の積極的な上部消化管内視鏡検査を受けることが推奨されます。